

受刑者の健康と刑務所生活 ～マザーハウス健康調査報告書～

日時:2019年12月15日(日)13:30～16:30
場所:立正大学品川キャンパス3号館3階334教室

入場無料・申込不要

趣旨

NPO法人マザーハウスでは、中谷こずえさんと協力して、全国の矯正施設の収容者725名に健康に関するアンケートを実施し、284名から回答を得ました。この調査調査を踏まえ、受刑中や社会復帰後の健康と医療について”えんたく”方式で皆さんと課題を共有し、一緒に考えたいと思います。

なお、”えんたく”とは、ATA-netの開発した課題共有型のフォーカス・ミーティングの方式で、メイン・スピーカーが問題状況について15分程度の話題提供をし、これを受けて、ファーストテーブルのスピーカーが自分の持っている情報を順に話します。その後、相互に追加情報を提供し、その後に他の参加者と共に3名程度のグループを作って話し合います。再度、ファーストテーブル・スピーカーが情報交換をして、それぞれの考えたこと、感じたことなどを分かち合います。当事者を中心にした参加型・課題共有型の議論スキームです。

スピーカー

中谷 こずえ (岐阜保健大学看護学部・講師)

石塚 伸一 (龍谷大学法学部・教授)

相澤 育郎 (立正大学・助教)

中島 学 (美祿社会復帰促進センター・センター長)

小林 誠 (多摩少年院医務課・課長、医師)

五十嵐 弘志 (NPO 法人マザーハウス・理事長)

司会:**土山 希美枝** (龍谷大学政策学部・教授)

会場アクセス

所在地:

東京都品川区大崎4-2-16

アクセス:

JR大崎駅から徒歩5分。

JR五反田駅から徒歩5分。

大崎広小路駅から徒歩1分。



<http://www.ris.ac.jp/access/shinagawa/>

主催:JST/RISTEX(社会技術研究開発事業)「安全な暮らしをつくる新しい公/私空間の構築」領域
「多様化する嗜癖・嗜虐行動からの回復を支援するネットワークの構築」ATA-net(代表・石塚伸一)、
NPO法人マザーハウス

共催:APS研究会

協賛:龍谷大学ATA-net研究センター、龍谷大学犯罪学研究センター

科学技術振興機構「安全な暮らしをつくる新しい公/私領域の構築」研究開発領域・戦略的想像研究推進事業(社会技術研究開発)
「多様化する嗜癖行動をめぐるトランス・アドヴォカシー・ネットワークの構築」